

木ノ本伸線株式会社



事業概要	磨棒鋼、異形線の製造・販売
所在地	大阪府東大阪市弥生町2-56
電話番号	072-986-0009
URL	https://www.kinomoto.co.jp/
代表者名	木ノ本 裕
設立	1973年7月
資本金	18百万円
従業員数	74名
売上高	5,402百万円（2021年7月期）

(1)経営理念又は代表者メッセージ

江戸時代末期の万延元年(1860年)、生駒山系の水車を動力源とした伸線業を創業した弊社は、磨棒鋼の将来性に着眼し、培った伸線技術を活かした優れた磨棒鋼づくりに一貫して取り組んでまいりました。常に最高のものを求められるユーザーニーズに対し、磨棒鋼の品質とサービスのトップリーダーとして、お客様に満足いただける商品を追求するとともに、「**まずやろう**」を社訓に、お客様の困りごとを解決する商品づくりに挑戦し続け、これからも最高のものをお届けしてまいります。



代表取締役 木ノ本 裕

社は：**た**のしく **す**ぐに **き**もちよく

頭文字の**たすき**は次工程への伝達を念頭にいれたもので

社内伝達はもとより、ひいてはCS(顧客満足)につながると考えています

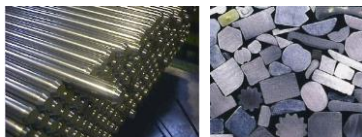
(2)技術・製品(事業)の特長

①技術(事業)内容

「お客様の望みをカタチに」、このことを常に企業としての存在価値と考え、特殊鋼の異形線や磨棒鋼づくりに挑戦してまいりました。小ロット・短納期・高精度・高品質やコストダウンの要求はますます厳しくなり、それに対応すべく、社内インフラの整備に取り組み、成果を上げてまいりました。弊社では、新しい素材の快削鋼磨棒鋼を異形線とともに、お客様の生産性向上と工程省略に役立つ合理化商品と呼んでおり、この分野において業界のトップシェアを誇っています。多様なユーザーニーズをデジタル化・分析し、その結果から優秀なオペレーターがお客様のご満足頂けるカタチにします。常に最高のものを求める「カタログにない商品づくり」、これが、木ノ本伸線のモノづくりの原点です。これからも、たゆまぬ努力を 続けてまいります。

②技術の用途と機能

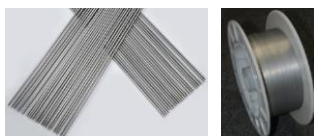
断面が丸形や様々な形をした磨棒鋼は、部品を作るための素材であり、それらはあらゆる部品に加工され、様々な製品の一部として新しい命を得ます。日本車のほとんど全てに、弊社の磨棒鋼が何らかの形で使われ、ネジ回しや六角レンチ、扇風機の回転軸、コピー機やプリンターの駆動軸、カメラや高精度なビデオ機材に幅広く使用されています。



磨棒鋼／各種異形線

③特徴・強み

弊社が提供する素材の精度は、様々な製品のエネルギー効率や強度、安全性、利便性の向上に大きく貢献し、世の中になくはない素材となっています。さらに、主力の工具用棒鋼の競争力を維持しながら、軽量化が進む自動車・鉄道・航空機等への貢献が期待できる次世代製品の「マグネシウム合金MIG溶接ワイヤ」の事業化にも取り組んでおり、早期の実用化を目指しています。



マグネシウム合金 TIG溶接棒／MIG溶接ワイヤ